

2011年

9
月号

組合会報

〈発行所〉

埼玉県鍍金工業組合

〒331-0811

さいたま市北区吉野町 2-222-7

TEL 048(666)2184

FAX 048(652)7631

〈発行人・理事長〉

仁科俊夫

〈編集人・総務委員長〉

井上宣雄

—今月号の主な内容—

理事長挨拶 仁科俊夫	2	全鍍連 平成23年度通常総会開催	8
新理事挨拶	3	『特級技能士試験を終えて』渡辺裕一	9
第46回通常総会開催	5	平成23年度行事予定	10

東日本大震災で犠牲になられた方々に深い哀悼の意を表すと共に、被災された皆様方には一日も早い復興と平穏な日々に戻られることをお祈りいたします。

141号



理事長挨拶

埼玉県鍍金工業組合 理事長 仁科俊夫



永く世界の「基軸通貨」であり続けたドルの地位が揺らぎ始めた。ドル離れは広がっている。各国政府は他国に支払うために保有している外貨準備として安定と信頼からドルを所有している。ただ、世界各国でのドルの所有率が一〇年前は70%を超えていたが、現在は60%に減ってしまった。

信用は失せてしまい米国経済の地位は下がつてしまつた。しかし、ドルに代わる通貨が無いのが現状である。ユーロはギリシャショック等あとから後から財政危機の国が登場してくる。中国は規制と政策により信用度が今一つで不安感がぬぐえない。そこで、消去法により世界第三位の円にマネーが流れてしまう。

融機関が次々に倒れ、自動車メー
カーのGMも破綻した。この不況
を乗り切るために米政府は巨額の
借金をして景気対策に乗り出し
た。そのツケが14・3兆ドルも
の政府債務である。借金がはたし
て返済できるのかという不安と新
興国が台頭する世界経済でドルの

6月の輸出額は前年度比1.6%減で、ほぼ震災前の水準に戻りつつある。しかし、リーマンショック以前の水準から見ると80%にとどまつていて、二桁の輸出の伸びを続ける米国、欧州、中国、韓国と比べると日本だけが世界から取り残されている感がある。

め、日産自動車は北米比率を80%に高めていく。シャープも独自のブランドの液晶関連をはじめ、薄膜太陽電池工場を国外に生産拠点を移す意向であるし、化学メーカーに対してもアジア各国は薄型ディスプレーや炭素繊維等の先端技術の誘致に熱心である。

日本の製造業は競争国に比へ多くのハンデを背負っている。異常な円高、震災復興も半導体関連は秋までかかる見込、韓国、中国と比較して法人の実効税率が30%高い、電気料金も2~3倍になつている等である。日本国内に残つた工場の多くは国内向けと、輸出向けの高付加価値製品を造つて存在価値を保つてきた。しかし、ホンダ

このような偏った債務と75円を切ろうとしている超円高はこの国受ける前に、円高阻止、法人税率低減、電気料金の値下げ、FTAの締結、TPPの検討はすべきであらう。

は生産台数の海外比率を70%に高
め、価値を保ってきた。しかし、ホンダ

新理事挨拶

副理事長 石下 一明 満

専務理事 吉田 幸司

後悔

副理事長 小林 満



組合でも、気が付けばもはや役員最高齢の一人でそろそろお荷物に成りかかっている。

おもえばこれまで後悔の連続

だつたではないか。

何で後悔をするのか。結果に満足できなかつた時に、充分努力をしていなかつたと思えるから後悔するのだろう。

たとえ結果が同じだとしても精一杯の努力をしていれば後悔はないで済んだのだろう。

などと、えらく哲学的なことを考えてみた。

この後、楽しく過ごすには後悔はしない生き方をしよう。

なにがきっかけかというと定かではないが、同年代の友人が健康を害したなどという話を聞いて、もうそんな年齢になつたのを実感したからかもしれない。

丈夫でいるためにやることはきっとやろう。



以前より少しわがままになつたかもしれないけれど、もう少しお付き合いをお願いします。

副理事長に就任して

副理事長 石下 一明



過日開催されました。第46回通常総会にて、不肖私が、副理事長という重責ある役職に推挙されたわけですが、何分にも浅学非才の身でありますので組合員皆様の御支援、御指導を賜りたく御願い申し上げます。

私も微力ながら組合員皆様のご

新専務理事挨拶

吉田 幸司



さと責任の重さに身の引き締まる
思いで決意を新たにしているところ
でございます。

まだ若輩者の身ではあります
が、これから2年の間、仁科理事長
の下で皆さんと共に組合と業界の
発展の為に努力してゆきたいと思
います。

組合員の皆様におかれましては
本組合運営に対しましてご理解、
ご協力を厚くお願ひ申し上げま
す。

さて、3月11日に東日本大震災
が発生し、予想もしなかつた大津
波、更に福島原発の2次災害によ
り多くの方が亡くなり、住むところ
もや職を失うという未曾有の大災
害となりました。被災された皆様
方に心より御見舞申し上げると
ともにお亡くなりになられた多くの
方々とご遺族の皆様に心よりお悔
み申し上げます。

この度、去る5月26日に開催さ
れました、平成23年度通常総会に
於きまして、専務理事に推薦され、
就任する事になりました。

前理事長を務めさせていただき
た父が亡くなつてから、早いもの
でまる3年が経とうとしておりま
す。

私たちに何が出来るのか、何が
最善なのかは解りませんが、皆さ
んと一緒にこの苦境を乗り越えら
れるよう活動していきたいと思
いますので、組合員皆様はじめ関係
各社様におかれましては、重ねて
のご指導ご鞭撻を頂きますようお
願い申し上げ、専務理事就任の挨
拶とさせていただきます。

期待に背むかぬ様一生懸命努力す
る所存です。又、環境委員長在職中
は、皆様の御支援、御協力を戴き無
事2期4年間の職務を完了し、次
の若い出野委員長にバトンをお渡
しする事が出来ましたのも、皆
様のお陰であると重ねて深く感謝
を致す所です。

私共の業界をとりまく環境は、
3月11日の東日本大震災後の、原
発事故による影響を受けて電力供
給不足、津波による東北地方の化
学工場の被災による原材料の調達
難、自動車業界の変則操業による
土、日、操業の検討、又今夏の節電
対策等難問山積で前途多難です
が、仁科理事長のもとで、若い組合
員様の意見を取り入れながら一致
団結して組合運営を行つて行きた
いと思いますのでよろしくお願ひ
いたします。

生前父が愛してやまなかつたこ
の組合で、皆さんと一緒に組合の
運営にたずさわる事の出来る喜び
と、今回仰せつかつた役割の重大

さと責任の重さに身の引き締まる
思いで決意を新たにしているところ
でございます。

イフラインをつかさどる電力の重
要性、私たち工業を営む者にとつ
て当たり前に入手出来たものが手に
入らないという貴重な体験を致し
ました。

また、リーマン以降の景気の低
迷とあわせ、当業界のみならず全
ての業界が今迄に味わつたことの
ない苦戦を強いられていることと
思います。

私たちに何が出来るのか、何が
最善なのかは解りませんが、皆さ
んと一緒にこの苦境を乗り越えら
れるよう活動していきたいと思
いますので、組合員皆様はじめ関係
各社様におかれましては、重ねて
のご指導ご鞭撻を頂きますようお
願い申し上げ、専務理事就任の挨
拶とさせていただきます。

今回の震災を目の当たりにし、ラ

第46回 通常総会開催される



し黙祷を捧げた後、島田孝男副理事長より開会の辞を頂いた。

次に主催者挨拶を代表して仁科俊夫理事長より頂いた。

「3月11日の東日本大震災が起こり、皆様におかれましても多大な被害があつたかと思われます。こ

の震災は1000年に1度の未曾有の災害とも言われており、各企業で万全を期していたとしても難しかつたかと思います。

埼玉県鍛金工業組合(仁科俊夫理事長)は、平成22年5月26日(木)午後4時よりパレスホテル大宮4階ローナーム東にて平成23年度第46回通常総会を開催した。

来賓をはじめ組合員・賛助会員多数出席のなか、井上総務委員長が司会を務めた。初めに、今年3月11日の東日本大震災(東北地方太平洋沖地震)で多くの犠牲者に対

県は大きな被害も少なく改めて胸を撫で下ろしているところではあります

が、現地への支援や協力ができるようにしていと先般、

この震災に対して組合員の皆様に

も義援金を集めさせて頂くご案内

をさせて頂きました。非常に皆様の熱意が熱く164万5千円もの義援金が集まり、本日、来賓でお越し頂く予定であります埼玉県知事の上田清司氏が日本赤十字の埼玉

支局長でもありますので、本日義援金を後ほどお預けさせて頂きました

景気の状況は、当然この震災の影響があるので、現地の状況は視察された人からの話ですと

非常に無残であつたとお聞きしていません。当然規制の入った映像を見ているのですが、現地の状況は

が、自動車や携帯端末なども順調な数字を残しておりますので、9

月、10月以降には少しずつですが

わかりませんが、臭いは大変き

ツイとお聞きしております。埼玉

ないように一生懸命がんばつていかなくてはならないと思います。

本日の総会では、新役員の改選も御座いますので最後まで慎重審議をお願い致します。」と述べた。

議案審議に入り議長に小松原秀元氏・書記に高岡彰次氏が選任され議事に入った。初めに、書記の高岡彰次より出席状況について本総会が成立要件を満たしていると報告があった。

第1号議案、平成22年度事業経過報告・財産目録・貸借対照表・損益計算書及び損失金処理(案)を小林満専務理事並びに各委員長が報告。

第2号議案、監査報告を吉田幸司監事より報告があり、第1号・2号議案を一括審議、満場一致で承認された。

そのためにも海外に流れてしまわ

第3号議案、平成23年度事業計

画(案)並びに収支予算(案)、承認の件、

第4号議案、借入金の最高限度額決定の件、を小林専務理事が説明、満場一致で承認された。

第5号議案、任期満了に伴う役員改選の件では、出席者議決権数の $\frac{2}{3}$ の賛同により、推薦会議による選出方法に決まり、選考委員会を代表して荒木利章氏より次期理事推薦者24名が発表され、満場一致で承認された。

新理事の承認を頂いた事により代表理事及び担当理事の選任を決めるため総会を一時中断し別室にて第1回理事会が開催された。

理事会の終了後、総会を再開。新理事の中から選任により仁科俊夫氏が代表理事に決まった事を吉田幸司新理事より報告があつた。

統いて、三役理事・常任理事の發表を仁科理事長より以下の通りに報告があつた。

監 事	島田 幸昌 氏	副委員長	瀬野 徹 氏	副委員長	黒沢 久 氏
副理事長	小林 満 氏	専務理事	吉田 幸司 氏	副委員長	井上 宣雄 氏
副委員長	石下 一明 氏	副委員長	吉田 幸司 氏	副委員長	生形 滿男 氏
副委員長	矢嶋 新一郎 氏	副委員長	井上 宣雄 氏	副委員長	吉田 幸司 氏
副委員長	出野 哲也 氏	副委員長	吉田 幸司 氏	副委員長	吉田 幸司 氏



仁科理事長より理事代表の挨拶があつた。

二期目の代表理事に選任いただきました。先程も主催者挨拶で触れましたが、実に厳しい経済情勢の中、皆様からのご承認を受けた

以上、理事長としての大役を受け精一杯頑張らせて頂きたいと思ひます。昨年度までお力添えを頂いておりました副理事長に変わり今

回は組織の若返りがされており素晴らしい体制ができたと思っております。これからも組織の活性化及び若い人を育てる事を考え皆様に愛される組合になるようにしたい

いと思います。またご報告になりますが、全鍍連幹事として前副理事長の今井昭雄氏が当選することになつております。また、小林満

副理事長は全鍍連の経営副委員長として出向が決まつておりますので、皆様のご支援を宜しくお願ひ致します。」

第6号議案、その他では、小林副理事長より組合員数の報告があ

り、今期は1社
株式会社新和エコー(第5支部)

の新規加入と退会企業は無く、組合員89社、賛助会員29社との報告があつた。

全ての議案審議も滞りなく終了後、閉会の辞を今井昭雄前副理事長より頂き総会の幕を閉じた。

小休憩後、同会場隣のローズルーム中にて懇親会を開催し、生形満男総務副委員長の司会のも

と、開会の辞を小林副理事長より頂いた。





初めに、東日本大震災の義援金を日本赤十字埼玉支部長でもあります上田清司知事に贈呈を致しました。主催者を代表した仁科理事長の挨拶の後、長年に亘り当組合理事としてご尽力を賜りました前副理事長の島田孝男氏並びに今井昭雄氏が本期で退任され、長年の労に対し理事長より感謝状と記念品が贈呈されました。

次に、来賓祝辞を埼玉県知事上田清司様より頂いた。

「先程お預かりさせて頂きました義援金は日本赤十字をつうじて各被災者の皆様方に必ずお届けを

させて頂きます。

3月11日の大震災が起きたこと

で一変したというのはこの事だと思います。日本の近代工業文明はいろいろな意味の限界が随所に出

てきてていると思います。少なくともエネルギー過消費でよいのか、

あるいは一極集中の危なさといいますか、ライフスタイルがこのままでよいのか、いろいろなかたちで問われている状況です。しかし、

日本という国はいろんな困難をのり越えて凄い飛躍を遂げてきた過去の歴史があり、またここでチャンスを与えられたのではないかと思つております。

埼玉県鍍金工業組合の皆様におかれましては日頃より県政に対しこいろいろなかたちでご協力、ご支援を頂いております事を厚く御礼申し上げます。

めつきの技術は半導体や次世代自動車などいろいろな分野で使われて、今日の日本産業を支える技術であり、もともとの歴史を紐といて

いくと、奈良の大仏の時代から使わ

れている技術で、当時においても世

界最高の先進技術であつた事が今

日歴史的にも証明されております。

そういう意味でも日本のめつき工業技術は大変奥深く、歴史の長い産業であると理解しております。これからもいろいろな分野で最新の技術を活かし工業製品の貴重な所に使われ、また、使わなければ稼動しない極めて重要な分野であると

理解しております。個々の企業で充

分ではない所を組合というかたちの中でカバーしながら、全体として底上げしていく事が極めてこの組合のよいところではないかと思つております。埼玉県も昨年までは上

限300万円までの研究開発などを後押しをする支援をしておりましたが、今年は上限1000万円まで支援を拡大しております。何か開

発設備などに悩まれている状況で県が一部を支援してもらえると思えば、「思い切って開発しよう、思い切つて実証実験をやろう、思い切つ

て製品開発をやろう」となっていく

のではないかと思つております。県

자체が何かを作りだす事はなかなか難しいところであります。が、背中

をちょっと押してあげる事やマッ

チングをさせるなどの仕組みをいろいろな場所でやる事で、皆様の企業が益々発展する事により税金や義援金などのかたちで県全体が潤うようになればよいと思つております。」と述べた。

続いて、衆議院議員武正公様、

参議院議員西田まこと様よりご挨拶を頂き、衆議院議員内閣官房長官枝野幸男様の代理金沢充隆様を

ご紹介させて頂いた後、全国鍍金工業組合連合会会長姫野正弘様より祝辞を頂いた。

そして、東京都鍍金工業組合理事長八幡順一様のご発声で乾杯、祝宴に入り終始和やかな雰囲気の中、中締めの挨拶を副理事長石下

一明氏より頂き、第46回埼玉県鍍金工業組合通常総会・懇親会を終了した。

全国鍍金工業組合連合会

平成23年度通常総会を開催



れた大震災は「いまだ昨日のように思い出されます。」とのあいさつから始まりました。

姫野会長を議長として、22年度の事業報告・収支報告、23年度の事業計画・収支予算など全ての議案が順次滞りなく議決されました。

今年度は任期満了に伴い役員の改選が選考委員会の推薦を受けて候補者が発表、了承されました。新会長には愛知県鍍金工業組合理事長伊藤豪氏(太陽電化工業株代表)、副会長などにも新たな顔ぶれもみ

られ、新体制の下23年度がスタートしました。埼玉県からは、監事に

月11日の東日本大震災の影響が大きいとの話が各所で話し合われ、

東北・北関東では壊滅的に被災をされた事業所もあり、例年になく

重い空気につつまれた会場で通常総会が、姫野会長による「東北・北海道の同志が甚大な被災を受けら

れた大震災は「いまだ昨日のように思い出されます。」とのあいさつから始まりました。

大不況を迎える、政治では政権交代が起きた。期待した新政権でも

「雇用、雇用、雇用」と宣言するも雇用を生み守る企業に対しどのように景気を良くするかを望んでいた。ものすごく大変な時代ですが、このような時に会長職についての天命なのかと感じましたが、人生において最高の仲間という宝を得て、皆様に強く支えていただき、本当に良い時にやらせていただいだなど感謝を述べられました。

いさつが始まりました。様々な経済上の不利な条件もあったが、緩やかでも順調にリーマンショック後の一〇〇年に一度といわれる大災害は、今まで以上の不安定を迎えるのではないか?このようなダメージに会長を引き受け重責に身が引き締まる思いです。各分野の基盤産業を支えるめつき業はエネルギー、CO₂削減などなど、多くの問題が連立している中で若いう人たちが夢を描いてめつき業を今後も支えてほしい思いをスローイング『变革の時—未来づくりへ』として抱負を語られました。

新旧会長の引継ぎに際し、「二人

がガツチリと抱き合い、それぞれの思いを伝え合った後、伊藤新会長

は、この2年を振り返ると、麻生政権での100年に一度といわれる

(当時)を団長として、東北地方の震災後の5月初旬に姫野会長

震災被害調査の報告書

いたしました。

姫野前会長の退任のあいさつ

は、この2年を振り返ると、麻生政権での100年に一度といわれる

(当時)を団長として、東北地方の

被災された組合員の調査についての説明がされた。今回は青森・千葉という長いエリアで大きな揺れとその後の津波により東北地方の沿岸で操業をしていた数社が壊滅的な被害を受けた。1階部分がすべて水に浸かった会社や津波でさまざまな瓦礫が会社内に流れ込んで途方にくれる状況にあること、その後の余震でも屋根が崩落したことなどは報告された。

～懇親会の模様～

がんばろう東北！

経済産業省製造産業局非鉄金属課の村崎課長からは、全鍛連から4ヶ月の時点で復旧の報告を受け、各企業の回復が、はるかに早い印象を受けました。しかしながら全体的な状況は余談を許さない状況であり、夏場の電力需要に対する対応などもあるが、国としてきめ細やかな支援をして参りたい。続いて全国中小企

業団体中央会の大村副会長からは、東北からの伝言として、例年のお祭りや花火大会など行事は全て行つもりでいるので、ぜひ東北に足を運んでいただき、復興へ繋げていきたいと懇願された事を報告された。また、表面処理団体協議会の奥村会長は、震災において「先人の教え」により、多くの方が助かつたと知り、今後に繋げていきたい。文明が滅びるのは「疫病・戦争・災害」があげられ、今回の災害は本当にひとつ文明が滅びるのではないか?と感じた。

会いする機会を経て、東北の皆さんの方強さに大丈夫だと確信しています。とエールが送られた。

最後に中締めに指名をされた鈴木常任顧問(東北・北海道組合)から今回の震災に負けず頑張りた

1、2級と大きく異なる点は、めつきテクニック以外の設備管理や生産管理的な内容が多くなっています。特に学科試験の方でその傾向が顕著で、下準備をしないで試験に臨んだため、学科は2回受験することになりました。

実技試験は生産現場で仕事をした事が無い人は難しいと思します。とエールが送られた。

特級技能士取得を目指す方はT W I (企業内教育)や T P M (総合生産保全)の研修の機会があれば受講しておいた方が良いと思います。

した事が無い人は難しいと思いませんが、生産活動に従事してきた人であれば、特に難しい内容ではありません。特に頭を悩ませたのが、M T B F や M T T F など自分が、M T B F や M T T F など自分にとって初めて目にした用語です。それ故平均故障間隔、平均事故寿命の意味なのですが、確かにめつきのテクニックだけでなく、エールを送つて懇親会が終了しました。

特級技能士試験を終えて

吉野電化工業株式会社 渡辺 裕一



平成23年度 行事予定

第4回理事会

午後3時 於組合会議室

◇平成24年3月16日(金)

第4回総務委員会

第4回環境委員会

第4回技術委員会

午後6時

◇平成23年9月7日(水)

第3回三役会

午後1時 於組合会議室

第3回環境委員会

第3回技術委員会

午後4時 於組合会議室

◇平成24年4月17日(火)

第6回三役会

午後1時 於組合会議室

◇平成23年12月6日(火)

第5回三役会

午後3時 於新道山家

◇平成24年5月25日(水)

第5回理事会

午後4時 於新道山家

◇平成24年1月25日(水)

第5回常任理事会

午後2時 於組合会議室

◇平成24年5月25日(金)

第5回理事会

午後3時 於組合会議室

◇平成24年2月3日(金)

第47回通常総会

午後4時 於パレスホテル大宮

◇平成24年5月25日(金)

第5回理事会

午後3時 於組合会議室

◇平成23年10月2日(日)

第2回総務委員会

午後3時30分 於組合会議室

◇平成24年2月3日(金)

第47回通常総会

午後4時 於パレスホテル大宮

◇平成23年10月6日(木)

第2回環境委員会

午後2時 於埼玉会館

◇平成24年2月3日(金)

第47回通常総会

午後4時 於パレスホテル大宮

◇平成23年11月11日(金)

第2回技術委員会

午後2時 於埼玉会館

◇平成24年2月3日(金)

第47回通常総会

午後4時 於パレスホテル大宮

◇平成23年9月7日(水)

第1回支部長会

午後2時 於組合会議室

◇平成24年2月3日(金)

第47回通常総会

午後4時 於パレスホテル大宮

◇平成23年9月7日(水)

第1回支部長会

午後2時 於組合会議室

◇平成24年2月3日(金)

第47回通常総会

午後4時 於パレスホテル大宮

◇平成23年9月7日(水)

第1回技術委員会

午後2時 於組合会議室

◇平成24年2月3日(金)

第47回通常総会

午後4時 於パレスホテル大宮

◇平成23年9月7日(水)

第1回常任理事会

午後2時 於組合会議室

◇平成24年2月3日(金)

第47回通常総会

午後4時 於パレスホテル大宮

◇平成23年9月7日(水)



表紙の写真は東京スカイツリーです。(撮影場所 言問橋)

東京都墨田区押上に建設中の電波塔(送信所)である。ツリーに隣接する関連商業施設・オフィスビルの開発も行われており、ツリーを含めたこれらの開発街区を東

京スカイツリータウンと称する。

2012年5月22日に開業予定。

全高634m、軒高495mは

完成時点で、自立式鉄塔、現存する電波塔としては世界第1位。人工

ファ(アラブ首長国連邦ドバイの超高层ビル)の828mに次ぐ世界第2位となる。634mは東京

近辺の旧国名である武藏国(むさしのくに)の語呂合わせも考慮したとしている。

展望施設は第一展望台350m

(2000人収容)第二展望台450m(900人収容)。

東武伊勢崎線業平橋駅(とうきよ

うスカイツリー駅)に改称予定)から徒歩1分

東京地下鉄半蔵門線・都営地下鉄

浅草線・京成押上線押上駅から徒歩1分

TEL 03(3875)1641

〒110-0012

東京都台東区竜泉1-4-3

保証企画工芸株式会社

印刷